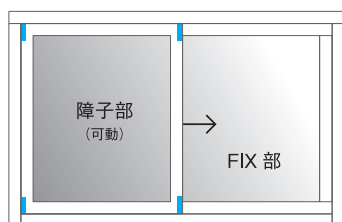
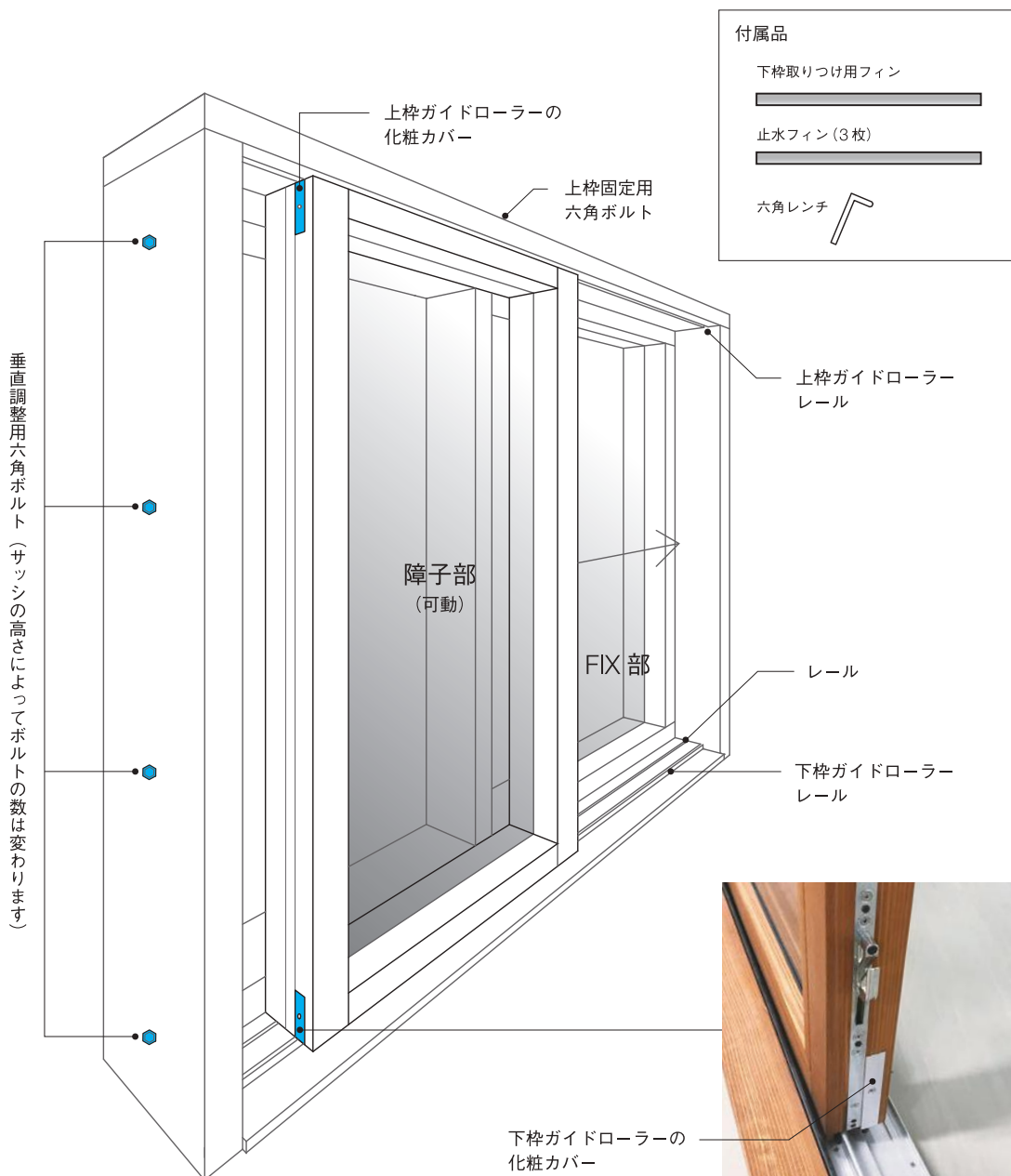


## 施工要領

# 片引き寄せ窓（エコスライド）の取り付け手順

夢まどスタンダードの片引き寄せ窓（エコスライド）は、断熱・気密性能に優れた片引き式の引き寄せ窓です。障子の四隅に取り付けられた「ガイドローラー」と、戸車が室内側に引き寄せられる「スライド機構」により枠と障子が強力的に密着することで、高い気密性能を発揮します。取り付けの際はガイドローラーと戸車の位置に注意しながら確実な施工を心がけてください。

## 各部の名称



### 注意：ガイドローラーの取り付け箇所を変更しないこと！

- ① 障子の四隅にあるガイドローラーは化粧カバーの奥に隠れています。
- ② ガイドローラーは障子がスムーズに開閉するよう工場出荷時に微調整を行なっています。取り付けの際はガイドローラーをいったん外すこととなりますが、必ず同じ箇所に戻して取り付けるようにしてください。

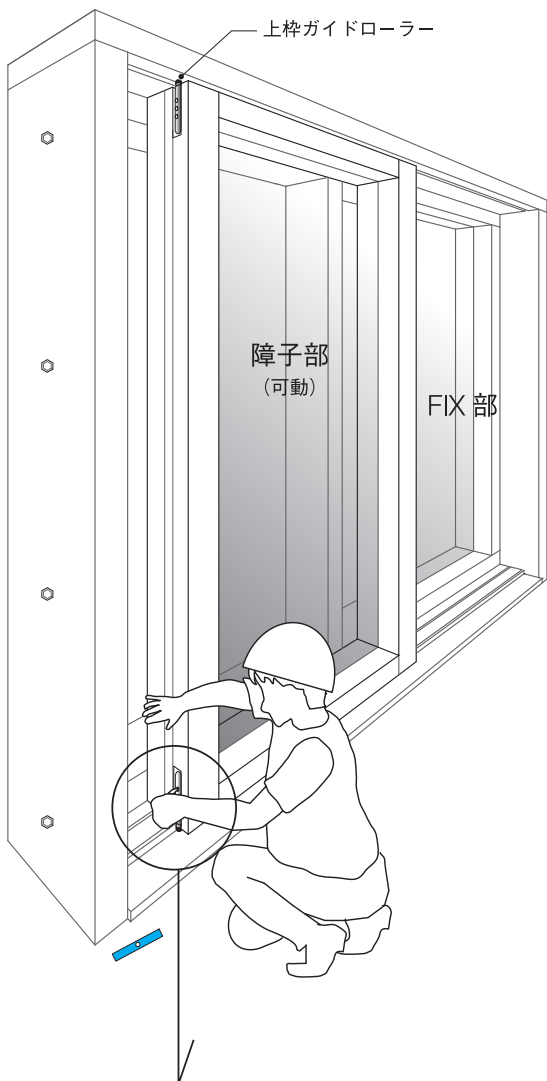
# 01 準備 | 障子の取りはずし

## 1 化粧カバーの取りはずし

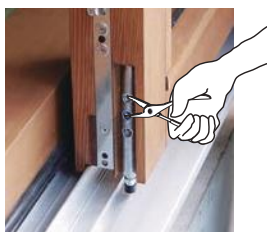
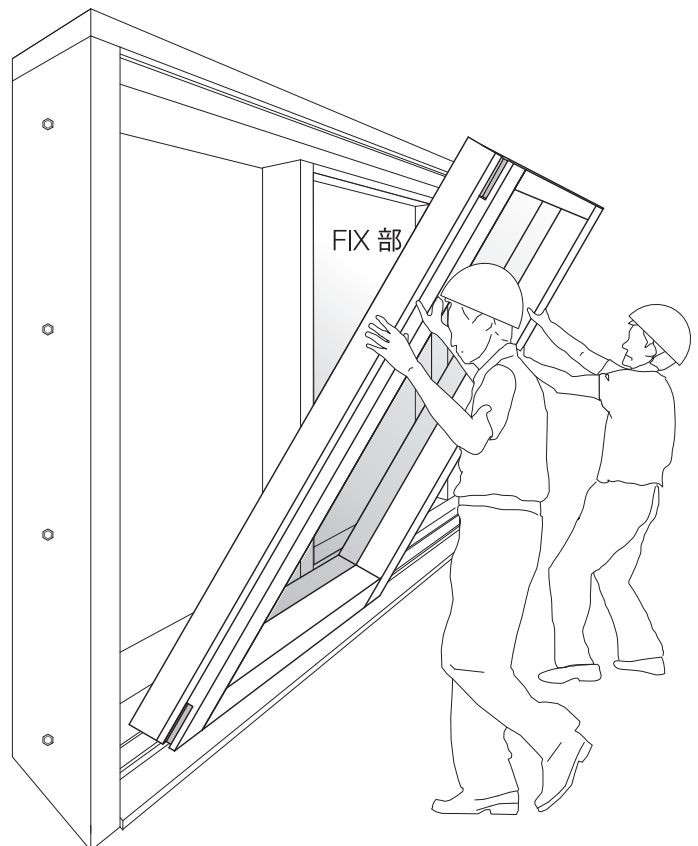
左右側面の上下（計4カ所）にビス留めされているガイドローラーの化粧カバーを取りはずします。

## 2 ガイドローラーと障子の取りはずし

化粧カバーを取りはずすとガイドローラーが現れますので、ガイドローラーを留めているビスを抜き、ビス穴にラジオペンチなどの先を差し込んでガイドローラーを引き抜いてください。その際、必ず下のガイドローラーから先に取りはずすようにしてください。上から取りはずすと障子が倒れてくるため大変危険です。すべてのガイドローラーを取りはずし、障子をサッシ枠から完全に取りはずせたら、緩衝材などを用いて安全な場所に仮置きしておきます（障子の取りはずしは搬入用トラックの中で行なっておくと、枠と障子を現場へ別々に搬入できるので運搬が容易になります）。



**注意: ガイドローラーを引き抜く際は「下→上」の順で!**  
下のイラストのように障子を取りはずすには、下枠ガイドローラーを先に取りはずしておく必要があります。障子は上枠ガイドローラーさえ引き抜けば簡単に取りはずせますが、破損防止のため「下→上」の順番を徹底してください。



ビスをはずしたガイドローラーの穴にラジオペンチの先を差し込んで引き抜く

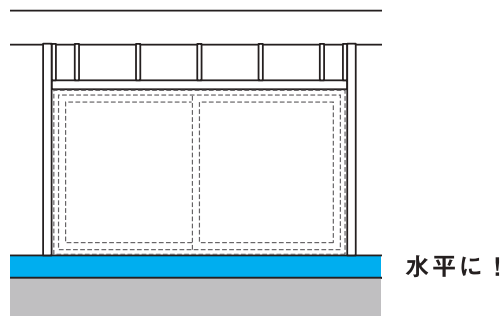
## 02 仮設置の準備 | 水平の確保

### 水平の確認

サッシを載せる土台の水平を確保します。ベニヤなどを調整用パッキンとして使用してください。

### 注意：取り付け後の調整は不可能！

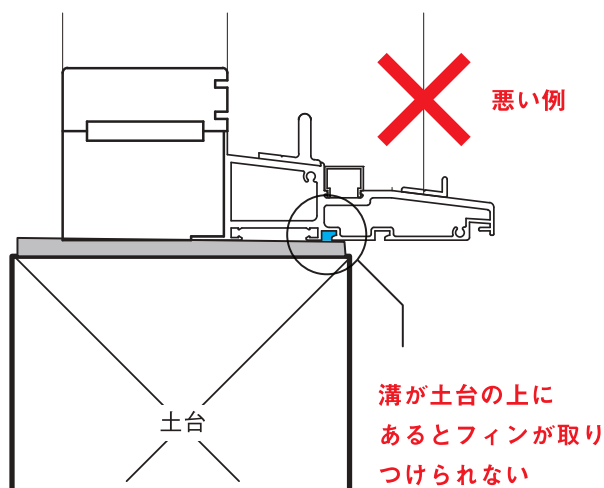
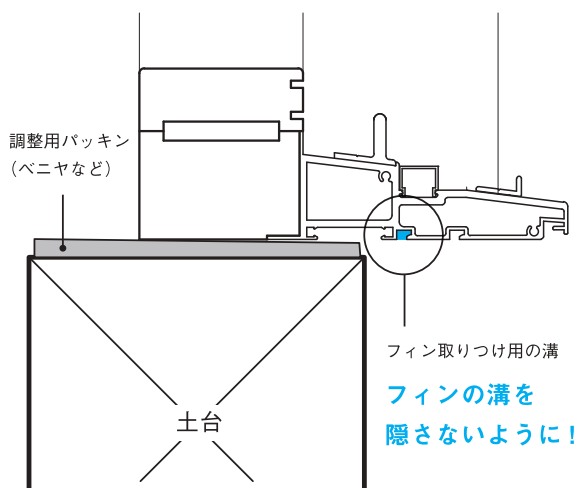
木製サッシは取り付け後に水平の調整ができません。「02 仮設置の準備」の段階で水平を確保しておくよう、くれぐれもご注意ください。



## 03 仮設置1 | 下枠取り付け用フィンの固定

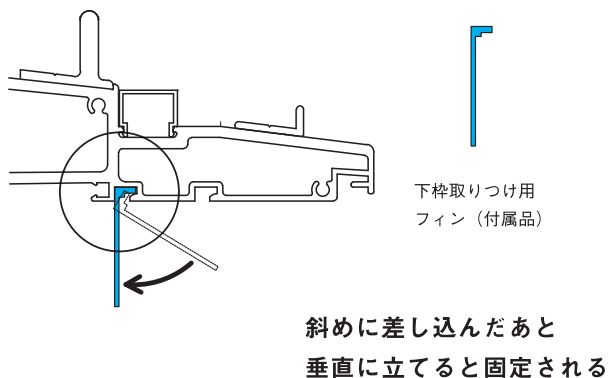
### 1 下枠の仮設置

サッシ枠を仮設置します。このときレール下にある下枠取り付け用フィンの溝が土台に隠れないよう、位置に気をつけながらサッシ枠を置いてください。



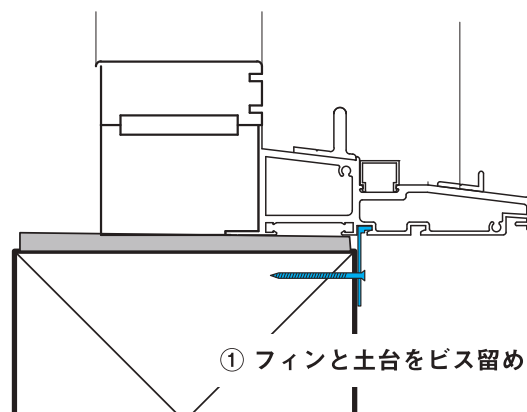
### 2 フィンの固定

取り付け用の溝にフィンを斜めに差し込み固定します。先にフィンのツバを溝に引っ掛け、そのあとで垂直に立てるとしっかり固定できます

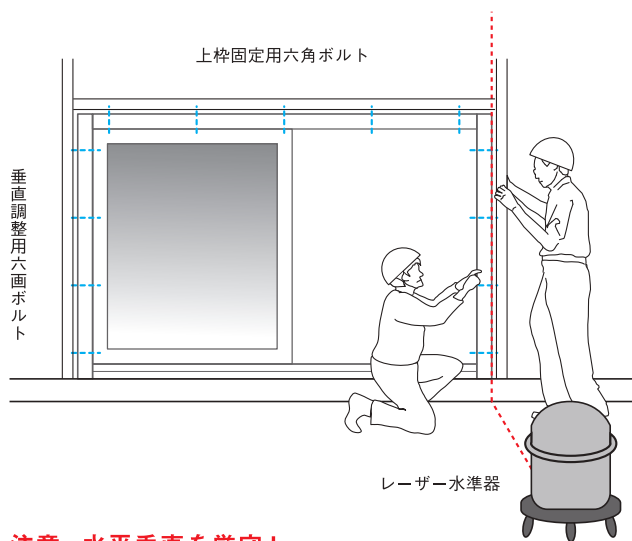


### 3 ビス留めによる仮固定

取り付けしたフィンと土台をビス留めします。これで仮設置の完了です。



## 04 仮設置2 | サッシ枠の仮固定



### 注意：水平垂直を厳守！

木製サッシの不具合のほとんどは水平垂直が正しく守られていないことが原因で起こります。この段階でしっかり確認しておきましょう。

### 1 上枠の仮固定

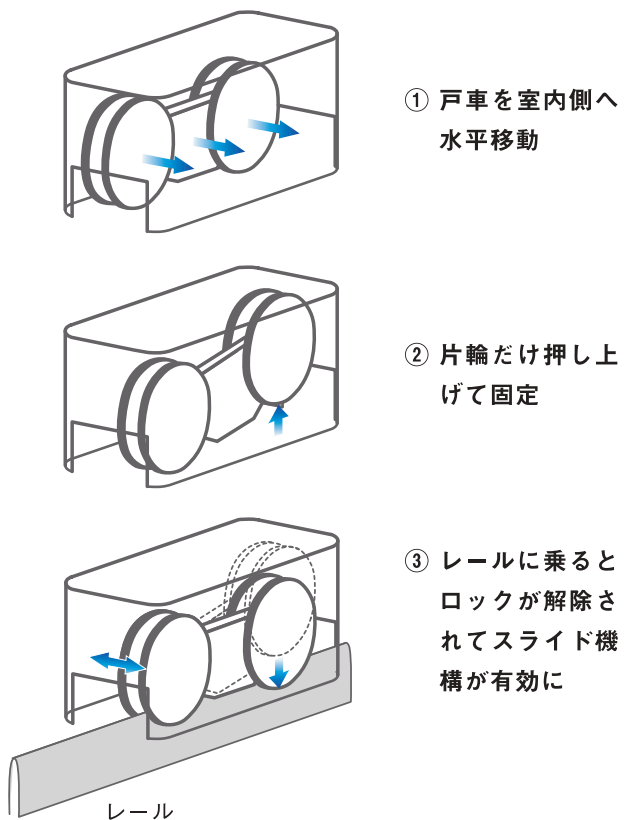
サッシ上枠をビスで数カ所仮固定します。

### 2 縦枠の仮固定

左右の縦枠にある「垂直調整用六角ボルト」を回しながらサッシ枠の垂直を調整していきます。ボルト締めには付属の六角レンチをご利用ください。垂直が取れたらビスで縦枠を仮固定します。なお、水平の調整は取りつけ手順 02「仮設置の準備（水平の確保）」であらかじめ済ませておく必要があります。この段階での調整はほとんどできませんのでご注意ください。仮固定が終わったら、位置、建て入れ、出入り、水平、垂直の精度が出ているか、あらためて確認してください。

## 05 戸車の固定 | 障子の吊り込み準備

障子を吊り込む前に下部の戸車を一時的に固定します。戸車を固定することで、吊り込み作業がスムーズに行なえます。



戸車ボックスは戸先側と戸尻側の2カ所にあります

### 1 戸車を水平移動させる

まず、戸車を室内側に水平にスライドさせます。

### 2 戸車をロックする

室内側にスライドさせた戸車のうち、片輪だけを押し上げると戸車がロックされて動かなくなります。

### 3 戸車ロックの解除

戸車をロックしたまま障子をサッシ枠に入れます。その際、戸車がレール上に正しく乗っていることを確認してください。戸車がレールに乗ると、自動的にロックが解除され戸車が水平に戻ります。同時に、「夢まどスタンダード・片引き寄せ窓」の特徴であるスライド機構が有効になります。戸車がレールから外れているとスライド機構が動きません。

## 06 障子の吊り込みとガイドローラーの調整

### 1 障子の吊り込み

戸車がレール上に正しく乗っていることを確認してください。

### 2 ガイドローラーの取り付けと調整

準備段階で取りはずしたガイドローラーを元の位置に戻します。先端の黒色のローラー部を正しい位置（右図参照）に合わせてビス留めをしてください。

**注意：ガイドローラーの上下左右を間違えないこと！**



上枠ガイドローラー



下枠ガイドローラー

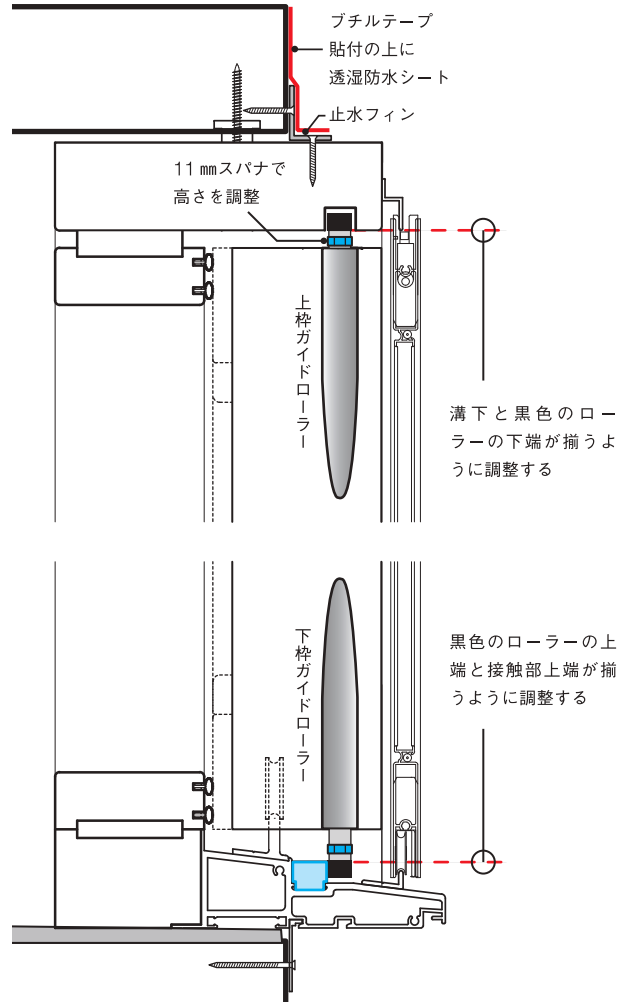
### 3 化粧カバーの取り付け

ガイドローラー取り付け後、スムーズな開閉動作が確認できたら化粧カバーを取りつけます。

### 4 止水フィンの取り付け

枠の三方（上、左右）にある溝に止水フィンを取りつけてビスで固定します。その後、フィン周囲の止水処理を行ってください。

ガイドローラーの高さ調整には 11 mm スパナを使用します



## 07 取り付け完了 | 動作確認、不具合への対処

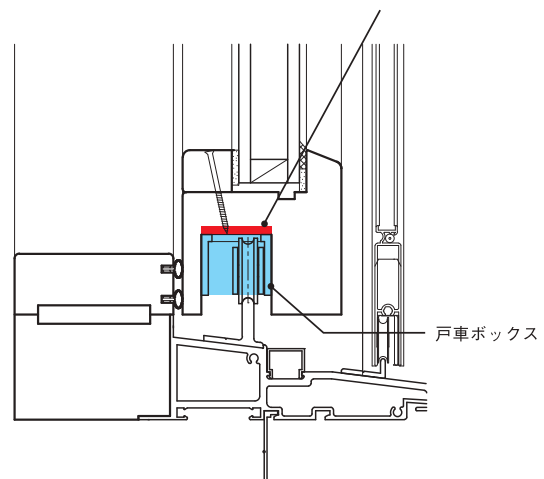
### すべてのビスを固定

最後に、①各部の寸法、②建て込み状況、③開閉動作の確認をあらためて行ってください。すべてに問題がなければ仮留めしていたビスを固定します。調整用六角ボルトの穴を木栓でふさいだら作業完了です。

**注意：戸車には高さ調整機能がありません！**

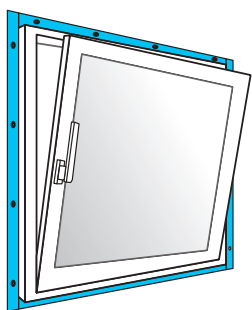
この時点で水平の確保に難があり障子の動作に不具合が生じた場合は、まず障子をはずし、次に戸車ボックスをはずします。戸車の上にベニヤなどの高さ調整用パッキンを挟み入れ水平を確保できたら（右図参照）、あらためて障子の吊り込みを行ってください。

ここに高さ調整用パッキンを挟み入れる

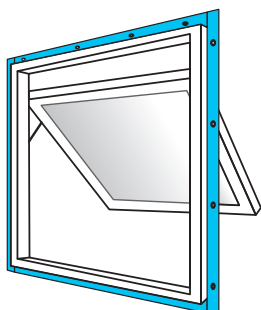


## 施工要領

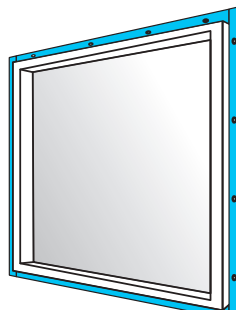
# 内開き・内倒し窓、横軸すべり出し窓、はめ殺し窓の取り付け手順



内開き・内倒し窓  
(ドレーキップ)



横軸すべり出し窓  
(オーニング)

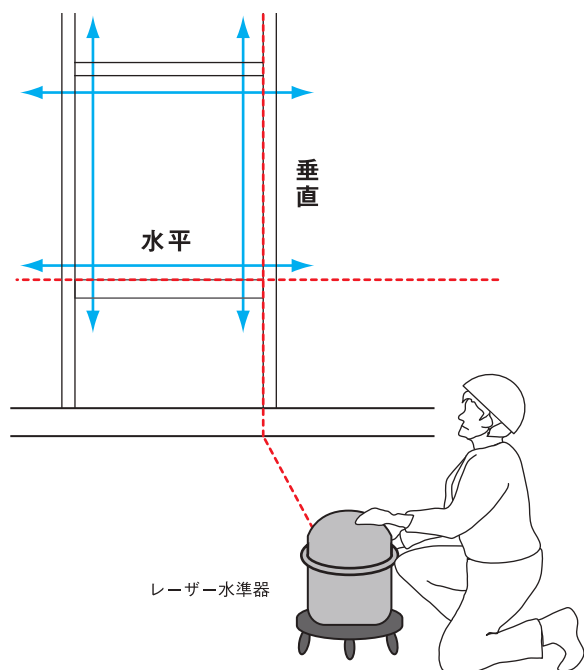


はめ殺し窓  
(フィックス)

サッシ取り付け用  
フィン (付属品)

すべてに「フィン」が付属  
これらの製品はすべて「取り  
つけ用フィン」が付属した状  
態で現場に搬入されます。

## 取り付け方法



### 1 水平の確認

サッシを載せる窓台の水平を確保します。ベニヤなどを調整用パッキンとしてご使用ください。

### 2 位置の調整

水平な窓台にサッシを載せ、基準線を見ながら所定の正しい位置にサッシを調整してください。

### 注意：取り付け後の調整は不可能！

木製サッシは取り付け後に水平の調整ができません。準備段階で水平を確保しておく必要がありますので、くれぐれもご注意ください。

### 3 フィンをビス留め

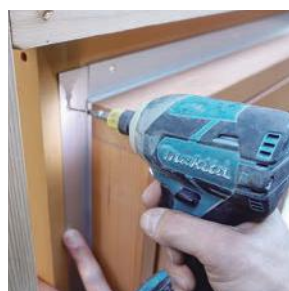
サッシ枠に付属しているフィンを下地に留めつけます。フィンにはあらかじめビス穴があいています。なお、内開き・内倒し窓、横軸すべり出し窓は、フィンを固定したあと障子がスムーズに開閉することを確認してください。

### 注意：内開き・内倒し窓のロックに注意！

内開き・内倒し窓（ドレーキップ）のレバーハンドルは扉が開いた状態では動きません。レバーハンドルの操作は必ず扉を閉じた状態で行なってください。

### 4 取り付け完了、確認

位置、建て入れ、出入り、水平、垂直の精度が出ているか、すべて確認できたら作業完了です。



アルミサッシと同じ要  
領で取り付けられます